

報告

■ 柏崎・上越地域産業界と本学との産学交流会を開催

本学地域産学交流センターでは、柏崎産業界及び上越産業界との産学交流会を、平成22年12月3日(金)に上越市内で開催いたしました。柏崎産業界から10社(機関)13名、上越産業界から23社(機関)32名のご参加をいただき、本学教職員との交流を深めました。

交流会の開催にあたり、上越市の株式会社南雲製作所を訪問し、省力化自動機器や機械加工部品の製造工程を見学いたしました。その後、上越の若手技術者グループが開発した電気カーットの完成披露がありました。

続いてホテルハイマートに会場を移し、交流会を開催いたしました。本学の研究紹介では、「ナノ材料の表面グラフト化による改質と機能化ー環境負荷の少ない材料を目指してー」(環境科学科 藤木一浩教授)、「溶接ビード研削をロボット化するための能動工具ホルダーの開発」(機械制御システム工学科 中嶋新一教授)の発表を行いました。

更に柏崎ものづくり活性化センターからは柏崎技術開発振興協会の事業状況について、上越ものづくり振興センターからは、上越産業界と本学との産学連携活動について紹介をいただきました。

最後に意見交換、懇談会を行い、今後の連携、交流等について情報交換を行いました。



交流会の様子(ホテルハイマート)

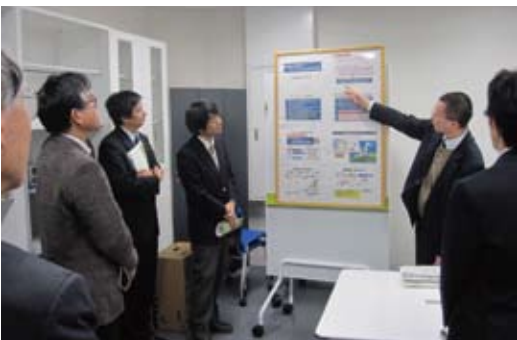


見学の様子(株式会社南雲製作所)

■ 新潟県産業振興課との意見交換会を開催



意見交換の様子



原子力耐震・構造研究センターの紹介

本学地域産学交流センターでは、新潟県産業労働部産業振興課との意見交換会を、新潟県工業技術総合研究所の方を交えて平成22年12月10日(金)に開催いたしました。

初めに、地域産学交流センターの宮澤センター長から、本学の教育研究の現況や産学連携の取り組みの紹介をいたしました。続いて新潟県産業振興課からは、企業への連携や知財支援体制などを紹介いただき、研究会の実施状況やその取り組みをご報告いただきました。

その後に意見交換を行い、大学からは、個々の教員のポテンシャルを十分に踏まえ、今後どのような活動ができるのかを検討して実施しているということ、また、このたび竣工した原子力耐震・構造研究センターと連携を図ることなどの説明をいたしました。県からは、各企業のニーズを把握し研究会等の実施に反映させているなどの報告をいただき、産学連携に関する情報交換を行いました。

意見交換会の後、原子力耐震・構造研究センターの施設見学を行い、本学の研究シーズを紹介いたしました。センターの見学後、本学の環境生命化学に関する研究室の見学を行いました。